

## 福山市老人大学 第四十四期入学式 式辞

春爛漫の本日、羽田福山市長のご出席、小林市議会議長・吉岡市老連会長を始め、多くのご来賓・講師の先生方のご臨席の下、福山市老人大学第四十四期入学式が、盛大に挙行出来ますことを大変有難く嬉しく思います。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日の入学式に出席された皆さんの元氣とやる気に敬意を表します。

今年度の老人大学の学生数は二六三八名、内、新規学生は二五四名です。昨年度と比べると新規学生は六七名 全学生数は五一名減で、ここ数年微減傾向となっており、その要因分析と対策が必要と考えています。なお、昨年度、一〇一歳の女性の最高齢者がこの三月で卒業されましたので、今年度は九四歳の男性が最高齢となりました。

われます。他方、古典文学は競争率一、九七倍、太極拳次に、受講希望の多い教科に変化が見られます。六クラス全部を普通科にして初心者指導に力点を置いてきたパソコン科が今年度初めて定員を割りました。高齢者のパソコン技術も初級レベルは相当程度普及したものと思は一、七五倍、この他にもフラダンス・写真・硬筆習字などが普通科・研究科ともにほぼ定員一杯となっています。

老人大学は、昨年度が創立四〇周年の節目の年度でありました。これを記念して、学生会の全面支援の下、八月・カラオケの集い、九月・「時と風の塔」のお披露目式、一〇月・記念式典と記念講演及び四〇周年記念誌の発刊、十一月・老大だより記念特集号の発刊、二月・老大講師の作品展示会、三月同じく老大講師のステージ発表会など、年間を通して様々な記念事業に取り組んできました。

これらの取組みとともに日常の老大生の活動は、一般教科の学習に加えて二教科目や短期講座を受講されたり、自主的にクラスの親睦会や旅行などを行なわれたり、学生会のお世話で八月の二上り踊りへの出演、一〇月の学生祭への出品・出演に加えてバザーなどの取組み、二月のコーラスフェスティバルへの出演、さらに音楽ダンス・卓球・パタンク・ゲートボール・囲碁将棋・ボランティア・写真とパソコンの各クラブが活発な自主活動を行なっています。

こうした多様な活動を通して、「老人大学は楽しい・遣り甲斐がある・友達の輪が広がった」との声をいただいております。

創立五〇周年に向けた新たな一〇年の歩みを始める老人大学は、高齢者にとってパラダイスとも言える存在として更に充実を図っていかねばと思っています。

その基盤となる力は、老人大学の産みの親で先輩組織の市老連の大きな支え、市行政の先見の明と財政上の配慮及び的確な指導、講師の豊かな教育内容と配慮ある教育指導、本学学生会の『我が学び舎』との強い思いと大学運営への全面協力であることを肝に銘じておかなければなりません。

同時に、福山市も四人に一人が六五歳以上という高齢社会となっており、これからの一

〇年は、これまでのように高齢者に優しく親切な社会ではなくなっていくことが心配されます。高齢者にも一段と自助努力が求められることになると思われます。

そこで、老大学生の皆さんには、学生生活はもとより日常生活においても「健やかに・穏やかに・和やかに」過ごすことを心掛けていただき、事件事故に巻き込まれることのないことを祈念いたします。

特に交通事故には十分にお気をつけください。「交通マナーを守りゆっくり帰ろう」の呼びかけに理解と協力をお願いします。

八月五・六日に老人大学で実施する健康診査を受診されるなどして、健康管理に努めてください。

「自分達で出来ることは自分達です」ことも心掛けていただきたいと思います。老人大学に通学される皆さんは、お客さんとしての受講生ではなく、老人大学の主役としての老人大学生です。

学級役員・駐車場係・掃除当番などクラスのお世話と安全確保と環境整備に携わっていただいております。学生会の役員を務めて老人大学の日常運営を事務局とともに車の両輪として担っていただく方も居られます。

「元気な高齢者は大いに地域での役割を含めたボランティアに取り組む」ことにも心がけていただければと思います。ボランティア支援は必要があれば遠慮なく受ける。しかし、出来ることがあれば進んでお世話する。相互扶助・共助の精神を発揮していきたいものです。

老人大学は今年も、福山市行政の呼びかけと指導を受けて、福山夏祭り二上り踊りに一〇〇名の踊り連を結成して出演したいと思います。ボランティア育成講座とバラづくり講座を開設し、その学習の成果を実践に繋げていきたいものです。

- 一 「健やかに・穏やかに・和やかに」に過ごすことで社会の安定に寄与する。
- 二 「自分達で出来ることは自分達です」ことで自主性と自助の精神を大切にする。
- 三 元気な高齢者は大いにボランティアに取り組む」ことで、相互扶助・共助に取り組む。

以上の三点を今年度の大学運営の基本としていきたいとの思いを申し述べて、入学式の式辞といたします。

二〇一四年（平成二六年）四月八日

福山市老人大学 学長 高橋 和男